

# 仏教説話の地域性についての考察

——『今昔物語集』本朝仏法部の古寺検索——

青 木 敦

## 一 伝承の地域性

コノコトドモハ、弟子日蔵ガ語りケルトテ、山階寺ノ林懷僧都ノ聞キテ語りケルヲ、永昭僧都ノ聞キテ語りケルヲ聞キ伝ヘテ、カク語り伝フルナリ。

懇切なまでに説話の伝承経路を確認しているこの文章は、『今昔物語集』の巻十四・第四十三話の末尾に見える一節である。

「千手陀羅尼ノ験力ニヨリテ蛇ノ難ヲ遁レタル語」という題のこの話は、「日蔵」という僧の師にあたる「聖人」の経験譚で、この「聖人」は吉野の深山の奥で長年の間修行していたが、ある日、とある深い谷に迷い込んで巨大な怪蛇の群に襲われた。すでに死をも覚悟したとき、仏法を守護する「鳩槃荼鬼」という馬頭人身の鬼神によって救出されたが、これはこの「聖人」が日ごろ千手観音の陀羅尼を誦していた功德の靈験であった、という内容である。

つまり、冒頭に引用した一節は、この奇怪な説話が、当事者の「聖

人」から、

聖人↓弟子の日蔵↓山階寺の林懷僧都↓永昭僧都……↓『今昔物語』の編者

という経路で伝承されてきたことを説明しているのであるが、それにしても、何という律義なまでに迂遠な「伝承経路」の確認であることか。この話の「聖人」や「日蔵」がどういう人物であったかはわかっていない。しかし、「林懷」や「永昭」はいずれも実在した人物で、林懷は長和五年（一〇一六年）、永昭は長元三年（一〇三〇年）にそれぞれ没しているので、それから逆算しても、この「日蔵」やその師の「聖人」の時代がほぼ九〜一〇世紀のころになる、という推定はできる。しかも、この「林懷僧都」は、山階寺つまり興福寺の別当だった人であり、次の「永昭僧都」もまた、林懷の弟子で興福寺の権別当であつた。興福寺はいうまでもなく奈良の南都七大寺の一、法相宗の大本山である。

ということは、この話が、九〜一〇世紀ごろの大和国吉野地方であ

った靈異のできごととして信じられ、それが千手陀羅尼や観音信仰を媒介として、興福寺を拠点とする法相宗系統の教団や僧侶たちによって伝承流布された説話ではなかったか、と考えることができよう。

説話文学が、「今は昔……」というように時空を超えた伝承の世界を対象としながら、その一方において、その説話の伝える内容が虚構や作り話ではなく「事実」であったということを強調するには、それぞれの話のできごとが、いつ、どこであったかという、具体的な時代や地域を明確にする必要があったのであろう。それゆえに、説話の地域性を特定することも、その話の史実性を立証するうえでたいせつな要件の一つであった。つまり、説話で語る事件が「事実」であったということを確認し強調するために、そして、それを聞き手や読み手に信じてもらうためには、その説話の伝承者と地域を明らかにして、伝承の史実性と責任をはっきりさせておかねばならなかった。

とくに仏教説話の場合、それぞれの話が特定の地域の古寺社にまつわる物語や縁起と密着して伝承された、という特性がある。たとえば、その伝承の拠点となっている寺院やその説話の伝承者である僧侶たちの名称を、可能な限り具体的に表記しようとしていることなど、いわゆる世俗説話とはかなり異質の性格をうかがうことができる。そこには、古代仏教の分布や、地域社会の信仰の中心地または聖地でもあった古寺社との関連が、濃厚に浮き上がってくるのである。

本稿の主旨は、これら仏教説話を生み出し育て伝承した背景地域と古寺に焦点を絞り、その地域性や分布地圏のあり方を探ってみようと

したもので、その検証対象として『今昔物語集』本朝仏法部を選んだ。

## 二 『今昔物語』 仏法部の渉獵

いわゆる「仏教説話」と総称される説話群は、平安初期に成立した最初の説話集といわれる『日本国現報善惡靈異記』を初めとして、その後の文学史・思想史の中に重厚な山脈を形成してゆくが、中でも一二世紀中葉に成立したと思われるこの『今昔物語集』の中の仏法関係の説話は、質量ともに卓抜である。

『今昔物語集』は全三十一巻、その構成は「天竺の部（巻一～巻五）」、「震旦の部（巻六～巻十）」、「本朝の部（巻十一～巻三十一）」の三部から成っており、そのまた「本朝の部」も「仏法部」と「世俗部」とに二分されている。

この論稿では、この『今昔物語』本朝部の全二〇巻を概観し、その中でもとくに本朝仏法部に集中している古寺社を対象として検索を試みた。つまり『今昔物語』の中で、巻十一から巻二十まで（うち巻十八を欠く）の、全九巻、総数四〇一話の話群が主なる検証範囲である。

この『今昔物語』本朝仏法部の四〇一話の中には、先行説話集と重複する類話・同話が多数収載されており、たとえば、『日本靈異記（九世紀前半成立）』にも載録されているもの七四話、『三宝絵詞（一〇世紀末成立）』にも載録されているもの一九話、『大日本法華驗記

（一七世紀中葉成立）にも載録されているもの一〇七話、に及ぶ。

つまり『今昔物語』本朝仏法部に収載されている説話は、主として奈良時代を背景に成立した『日本靈異記』以降の主要な仏教説話を包含しており、いわゆる初期の仏教説話の様相を検討するのに格好の資料ということができよう。

考察を進めるにあたっては、まずそれぞれの巻別に、各話ごとにその内容を検討し、とくにその話がどの地域を舞台として展開し、どういう古寺とかかわり合って伝承されているかを確かめることを主眼とした。さらに、それぞれの話が仏教説話の中でどういう類型に属しているか、たとえば「經典靈驗譚」とか「出家遁世譚」とかのパターンが、地域性とかかわり合っているかの目安をも考えた。ただし、留学僧の伝記等に関する外国（中国・朝鮮）の寺院名は、対象から除外した。

また、いうまでもなく、古代においては寺院と神社の性格を截然と区別できないことが多い。寺院守護を祈念して寺域内の神を社に祀る例は数多く、さらに、社僧が神社の祭祀を仏式で行なう神宮寺など、これらの現象は神仏習合説・本地垂迹説などの盛況や山岳仏教から修道への発展などともに一層顕著になってゆくのであり、いわゆる神仏混淆は、わが民俗信仰の多様性とも相俟って、むしろ自然の様相でもあった。この観点から、本稿においては、古代信仰における寺院と神社は、これを包括的に検討対象として考えてみた。

### 三 「表」について

各視点からの検索による分類一覧は「表」として後に掲出したが、その各表の検索方法について説明する。

#### 表Ⅰ 各巻・各話別の地域古寺社一覧

この表は『今昔物語』本朝仏法部（巻十一～巻二十）の総数四〇一話を各巻ごとに説話順に配列し、それぞれの話に載録されている古寺社名を地域別に分類したものである。

##### 1 寺社名について

(1) 各話の中に名称の見える寺社は、物語の主要舞台であるかないかに関係なく、できるだけこれを抽出した。たとえば、比叡山出身の僧が他国に行きそこで物語の主題が始まった場合でも、「比叡山」の名称はこれを採録した。

また、寺院・神社に限らず、古代信仰の聖地や山岳修験の霊場と思われる地域もこれに含めた。

(2) また、同じ寺院が移転するたびに名称を変えることがある。たとえば、奈良の「大安寺」は、「熊凝寺」（六一七年、大和郡山市）↓「百済大寺」（六三九年、北葛城郡広陵町）↓「高市大寺」（六七四年、高市郡明日香村）↓「大官大寺」（六七七年、同地）↓「大安寺」（七二九年、奈良市）、と変遷しているが、これもその変更の都度、名称別に採録した。

(3) 比叡山の「延暦寺」には多くの寺坊があり、『今昔』にもその中の数か所の寺院名が見えるが、これらはすべて「東塔」「西塔」「横川」の三塔のいずれかに配分した。三塔の所属の不明な寺はただ「比叡山」として別にまとめた。

## 2 地域の分類について

古代の首都圏である(1)「大和国」と(2)「山城国」を中心として、それ以外の(3)「近畿諸国」と、さらに(4)「その他の地方」に大別した。

(1) 「大和」地方（奈良県）はこれを適宜四つに分けた。

① 平城京周域——奈良時代の首都であった平城京とその周辺近郊。

② 東大和——奈良県東部の、旧添上・山辺の両郡を主とする地域。

③ 西大和——奈良県西部、生駒・葛城郡一帯を主とし、斑鳩などもここに含めた。

④ 南大和——かなり広範囲な奈良県南部地方、宇陀・高市・吉野の各郡をカバーする地域を含め、たとえば、飛鳥・長谷・吉野などはすべてここにまとめた。

(2) 「山城」地方（京都府南部）も四つに分けた。

① 平安京周域——平安時代の首都であった平安京とその周辺近郊で、現京都市の中心部とその東南方の上京・東山・山科・伏見の各区までもここに含めた。

② 洛西——京都市西南部。主として嵯峨から桂川以西の地域。

③ 洛北——京都市の左京・右京区の大部分。

④ 洛南・南山城——京都府南部。伏見区の南半から相楽・綴喜郡にかけての地域で、醍醐もここに含めた。

(3) 「近畿諸国」は、大和・山城以外の近畿地方で、比較的頻度数の多かった「摂津」「近江」を独立させて別欄とし、それ以外の河内・和泉・播磨・紀伊などはまとめて一欄とした。

(4) 「その他の地方」は、寺社数も少ないのでまとめて一欄とし、各寺院名ごとに旧国名を付記した。

## 3 時代

各時代の背景となっている時代を推定し「世紀」で表記した。時代の推定にあたっては、話の中で年号が明記されている場合はそれに拠り、また天皇名や史上実在人物名が判明している話では、その生存年代から類推した。

## 4 主要人物

各話に登場する主要人物名を記したが、史上に伝記や経歴等が判明している者のほかは、いわゆる「伝未詳」の人名が多い。なお、個有人名以外の僧・沙門・男・女人・貧女等の表記については、これをそのまま記した。

5 各話の「類型（パターン）」、および「類話が重複する他文献」の欄の略記号については、「表」の後にそれぞれ補記した。

## 表Ⅱ 『今昔物語』載録古寺社一覽

「表Ⅰ」をさらに整理して、『今昔物語』の中の各地域の「古寺社」を地域別に五十音順で掲出し、さらに同じ寺社が『今昔』の中に何回出ているかの頻数を見たもの。

- 1 地域の区分基準は「表Ⅰ」に準じた。
- 2 寺社名は原則として『今昔』表記の名称を掲げ、必要に応じて「別称」「通称」を付した。
- 3 開祖名や開創年代については、寺院によって異伝も多いが、一応定説と思われるものを記した。
- 4 各寺院の所属する宗派は、できるだけ物語に描かれた当時に復元しようと努めたが、開創以来宗派の変動があった寺院については、時代の追跡が十分とはいえない。またそれらが不明の寺院は現在の宗派名を記した。
- 5 「所在地」は現在の地名。
- 6 所在地の「旧国郡」は、できるだけ奈良・平安時代の国・郡・郷や京域内の地名を復元・記入しようとしたが、不明なものについては中世・近世の郡郷村の地名をあてた。
- 7 「備考」欄の
  - ▲印は、現在すでに廃寺となっているもの。
  - ？印は、詳細が不明なもの。
- 8 『今昔』所載の巻・話、の欄は、その寺社が『今昔』のどの巻の第何話に載っているかという目安と、掲載延べ数で、この欄の

記号・数字を例示すると、

① 2・4 — 「仏法部」巻十一の第二話と第四話

② 17 — 「世俗部」巻二十三の第十七話  
など。

## 表Ⅲ 載録寺院の巻別・地域別数

この表は、『今昔』の各巻ごとに、それぞれの地域の古寺社がどのくらいの頻度で現われてくるかということを見たもので、各欄の数字は、上段が実数で下段が延べ数である。たとえば、

(10/14) は、その巻に出てくるその地方の寺院が10か寺で、同一の寺院名が何度も出てくる場合、重複するものを含めてすべて通算した合計の寺数が14になる、という意味である。つまり「10」は、その巻に出てくる実際の寺院数、「14」は総延べ数である。

## 表Ⅳ 各巻別の時代推定可能の説話数

各説話の背景となっている時代の推定については「表Ⅰ」の項で説明したが、ここでは『今昔』仏法部の中で、背景時代の推定可能の話がどのくらいあるか、を巻別に分類し、各巻と時代の集中傾向・相関関係等を概観したものである。

## 表Ⅴ 主要寺院の地域別・宗派別一覽

『今昔』に載録されている主要寺院の中で宗派が判明しているものを、地域別に分類してみたもので、時代により所属宗派が変遷したことが明らかな寺院は、宗派別ごとにその名称を重複して記した。しかし、これはだいたい目安に過ぎない。「表Ⅱ」の説明の中でも触れ

たが、各寺院の所属宗派については寺院ごとにそれぞれ事情が異なり、草創当初から現在に至るまで一貫して一宗派の法灯を堅持してきた寺もあれば、また歴史の波の中で幾たびか宗派の変遷を経たところもある。

それゆえ、この「表V」は、あくまで『今昔』の説話に登場する寺院が、おおよそどういう地域別と宗派別の傾向をもっているか、を概観したにとどまる。

#### 四 各巻別の検証

##### ○ 巻十一（全38話）

前半の第一話から第十二話までは、いわゆる「高僧譚」ともいうべき説話群で、聖徳太子をはじめ行基・鑑真・空海・最澄等、古代仏法の伝教・弘布に貢献したと伝えられる聖人・高師・名僧・仙人などの伝承説話である。つまり、わが国の仏教興隆時からの伝承が主体になっており、それゆえ、説話の背景時代も古く、奈良時代以前から平安初期ごろまでの話が大部分である。その舞台も、主として大和を中心とした地域で、伝承寺院も、飛鳥の法興寺・久米寺、斑鳩の寺、吉野の金峰山などとともに、奈良の諸大寺の中では、元興寺・東大寺・大安寺・薬師寺・唐招提寺、等の古寺が主役である。これらに対して、大和以外の地域では、わずかに摂津の四天王寺、近江の比叡山などが散見するだけである。

第十三話から巻末の第三十八話までの26話は「造寺・造塔譚」であ

り、仏教の弘布発展に伴ない諸大寺がつつぎと創建整備されてゆく時代の説話がまとめられている。

ここの地域的には大和地方の大寺院建立の伝承が主であり、後半ようやく平安時代初期の比叡山や金剛峰寺の草創の物語、さらには山城の洛内外の諸大寺、近江の三井寺・石山寺などの開創譚が彩りを添えてくる。

以上、巻十一の高僧譚・造寺造塔譚を総括すると、この巻に載録された古寺の数は、大和国が延べ50寺近く、山城9寺、近江9寺、その他の地域10寺余、という割合になる。さらに、それら説話の背景時代も、全38話中、35話の時代が推定でき、そのうち七割の話が六・八世紀に集中していることがわかる。

##### ○ 巻十二（全40話）

この巻の説話の類型は、大別して法会法要譚・仏像縁起譚・奇瑞譚・高僧伝、等に分けることができる。

先行説話集と重複する類話は、『日本霊異記』『法華験記』とそれぞれ15話ずつ、『三宝絵詞』とが10話ある。

地域的にはやはり大和地方が主な舞台で、とくに奈良の諸大寺は、薬師寺・興福寺・東大寺・大安寺を主とする14寺をはじめ計23話があり、山城地方の古寺も15寺と比重が大きくなってくる。

時代別には、全40話中、時代が推定できる説話は34話、その中で半数の16話が八世紀の話であり、あとは一〇～一一世紀の14話がある。

##### ○ 巻十三（全44話）

この巻は、冒頭の8話が「高僧譚」であるが、それ以下の36話はすべて「經典奇瑞譚」で、そのまた大部分が法華經にかかわる奇瑞靈驗を伝えた話である。しかも全44話中の40話が『法華驗記』の載録説話と重複している。

この巻の地域的特色は、大和地方では奈良の諸大寺に関する話が極端に少なくなり、むしろ南大和の長谷・吉野・大峰などの聖地伝承が多く、さらに比叡山を主とする近江16寺、山城12寺などの説話が目立ち始める。平安京洛中の六波羅密寺の伝承が出てくるのもこの巻からである。

時代的には、時代推定可能の話数がぐっと少なく、わずか9話となる。その時代も、前の二巻に比べてかなり新しく、9話のすべてが10～11世紀の話であることもこの巻の特色である。

#### ○ 卷十四（全45話）

この巻は、巻末の2話を除くすべてが「經典奇瑞譚」で、うち29話が法華經、その他が大般若經・般若心經・方広經、等の諸經に関する話である。

全45話中、33話が『日本靈異記』（12話）・『法華驗記』（22話）・『三寶絵詞』（5話）等と重複している。

地域的には、大和地方の話がかなり少なくなり、興福寺・薬師寺・法隆寺・長谷寺などの6寺が見えるのに対し、近江・山城の地方は比叡山諸塔の10余寺をはじめ、醍醐寺・神奈比寺・高麗寺など、洛南の古寺が目立つ。

さらにこの巻には、越中・越後・信濃、等の中部地方の古寺にかかわる数話が見えるのが特色といえよう。時代的には、推定可能の話は9話しかなく、そのほとんどが10～11世紀の新しい説話であることも、前の巻十三と似ている。

#### ○ 卷十五（全54話）

『今昔』仏法部の全九巻の中で、最多の54話を擁する巻であるが、そのすべてがいわゆる「往生譚」である。先行説話集との類話は『法華驗記』と重複するもの13話など。

地域別では、大和地方が元興寺関係2話、東大寺・薬師寺が各1話ずつ、と極端に少なくなり、逆に近江の比叡山・石山寺関係の話が20話近く、山城地方の諸寺も10話を越える。この巻はすべてが「往生譚」であるために、特定の寺院に関する話とともに、個人的な往生逸話が多いので、巻の話数が54話と最も多い割には寺院数が少ない理由であらう。

時代的には、推定可能の25話中のほとんどが9～11世紀を占める。

#### ○ 卷十六（全40話）

すべての話が「観世音菩薩靈驗奇瑞譚」であり、先行説話集との類話は『日本靈異記』と12話、『法華驗記』と9話が重複する。

この巻の特色の一つは、説話に登場する主要人物がほとんど僧侶ではない世俗の人であり、しかも大部分が無名の庶民であることは、いわゆる衆生済度の観音信仰を伝える話だからであろう。

地域的には、著名な古大寺が少なくなるが、南大和の長谷寺3話、洛東の清水寺6話、近江の石山寺2話など、観音信仰の聖地に関する説話が目立つのは当然であり、同時に、地方諸国における観音説話も多くなる。

時代的には推定可能10話のうち、七世紀2話、八世紀7話、九世紀1話という割合になる。

#### ○ 卷十七（全50話）

この巻は、すべてが「菩薩・諸天の靈驗譚」で、その中で前半の32話が地藏菩薩、その他が弥勒・普賢等の菩薩靈驗譚である。

地域的には、大和12寺、山城16寺、近江12寺とほぼ均衡した数となり、その他、播磨3話のほかは周防・伯耆・因幡・但馬、さらに越前・越中・駿河・伊豆・上総・下野から陸奥に至る地方の古寺の説話が広範囲に散見するのが特色といえよう。

時代推定可能13話のうち、八世紀5話、九世紀1話、一〇世紀3話、一一世紀4話、と比較的平均化されている。

#### ○ 卷十九（全44話）

前半18話が「出家遁世譚」、後半26話が「奇瑞譚」である。登場人物もこの巻の説話の性質上、世俗的で無名の庶民の話題が多い。

地域的には、奈良の大寺6が目立ち、あとは山城の10寺や比叡山の話が多い。

時代推定可能の13話の大部分は平安期の一〇～一一世紀の比較的新しい説話である。

#### ○ 卷二十（全46話）

前半19話と巻末の8話が「天狗譚」を主とする「怪異靈奇譚」で、それには含まれた中間の19話が『日本靈異記』とほぼ重複する「因果応報譚」である。

地域的には、大和10寺、山城9寺、近江8寺、が主。

時代的には推定可能20話のうち、七～八世紀9話、九世紀3話、一〇世紀7話、と平均するが、「因果応報譚」に限っては七～八世紀の話が多く、「怪異靈奇譚」では九～一〇世紀のものが多い。

### 五 むすび

『今昔物語』本朝部の説話数六九八話（仏法部四〇一話、世俗部二九七話）の中に記載された寺社は約二〇〇、延べ数五五〇に及ぶ。もちろん、その多くは盛衰の歴史に堪えて、法灯を今に伝えているが、中には、無常の波に沈んで廃寺となったものや、今となってはどこにあったのかわからぬ寺もあり、あるいは当時からすでに、ただ「古寺」とか「山寺」としか伝わらぬものもある。

それら古寺社を点検し、総括すると、

(1) 古寺社の地域的な分布傾向としては、やはり当時の首都圏である大和・山城を中心とした畿内に集中している。

(2) 時代的には、六～八世紀の大和・奈良時代ごろまでの説話は、奈良を中心とする大和地方一帯の諸寺が主役であり、時代が下って平安遷都以降の九～一〇世紀の平安時代になると、京都の内外を中心



とする山城の諸寺、および近江の比叡山が頻繁に登場してくる。つまり、同じ近畿圏でも、近江―山城―摂津―播磨と、いわゆる東西に連なる京阪神ルート沿いの古寺に比重が移ってゆく傾向が強い。

(3) 宗派的には、大和を舞台とする奈良時代までの話は、法相宗・三論宗・華嚴宗などの古来の南都六宗に関する古寺の説話が、平安時代になると、前出の時代推移に見られる京阪神ルート沿いの地域を中心とした、天台宗・真言宗などのいわゆる新興宗派系統の寺院が圧倒的に多くなる、

等の現象が顕著である。

以上のことからまず、『今昔物語』は、一二世紀中葉に平安京周域の首都圏のどこかの寺院で、たぶん仏教関係者を主体とする編集者グループによって採録・編纂されたのではないかと考えることができる。もちろんそれが『今昔物語』の説話採録方法の限界と偏向を見せているともいえるが、しかし、過去数世紀にわたって、ほぼ全土三八か国の二百寺におよぶ古寺伝承と、それに関連する仏教説話四百余話が蒐集され、それを主軸として一千余話の大説話集がまとめられてきた過程を思うと、その精力的な意欲と壮大な構想にあらためて驚くことはない。

『今昔物語』の成立を窺わせる話として『宇治拾遺物語』序文が有力な参考資料とされる。いわゆる「宇治大納言源隆国」が、夏季に宇治に避暑して、平等院の山ぎわの南泉房にこもって、往来の人々を身分の上下を問わず呼び入れてさまざまの物語をさせて、それを片端か

ら双紙に書き記していったという。これが『宇治大納言物語』の原本で、それが『今昔物語』や『宇治拾遺物語』の成立と密接な因果関係にあるらしいといわれている。その検証は暫く措くとして、少なくとも『今昔物語』が『宇治拾遺物語』とは別の成立系統をもって、まず「本朝仏法部」つまり仏数説話を主軸として仏僧関係者によって編纂を企画されたのではないか、という疑いは濃いといえよう。

仏教説話が世俗説話と基本的に異なるところは、説話伝承の拠り所となる寺社が地域と密着していることであり、同時に、それが宗派性・信仰性のルートで伝播・流布される特性があることである。その点、世俗説話はそういう地域性や思想傾向を持たず、ある意味で流動的・偶発的な性質を有し、考えようによっては、それだけ自由で普遍的な、真の文芸評価と鑑賞に堪えられる内容の説話だけが生き残った、ということがいえよう。一般的に、世俗説話のほうが仏教説話より興趣に富み文芸性の高い秀逸なものが多いといわれるのも、そのためであろう。

しかし、編纂企図と方法の観点からすれば、初期の説話集の成立は、やはりまず地域的に密着している仏教説話を強い柱として組み立てられ、それに普遍的価値の高い優れた世俗説話が添加されて完成してゆく、という過程をとるのが常道であったと思われる。わが国の説話集の中で最初に現われたのが仏教説話集の『日本霊異記』であったという事実は、その何よりの徴証であろう。また『今昔物語』の本朝部の説話数が、仏法部四〇一話、世俗部二九七話であるという比率

も、仏法部の主導性を物語っているといえよう。

そして、これら仏法部の説話の多くが、当時実在していた寺社を伝承の拠り所として育てられたということが考えられる。古代地域社会における寺院や神社は、単に信仰の中心地というだけでなく、地域社会の連帯・交流の場であった。それは季節的または定期・不定期の法要・祭礼などの行事を通じて地域民衆を結集し、その地方の社会的・信仰的・思想的、そして芸能的な活動の中枢でもあった。この傾向は現代社会の中にも残存する現象である。集団発想的な民話や民謡もここに持ち寄られ伝承され、ここからまた拡散していった。寺社は、地方説話を醸成するための重要な温床であったのである。

前述したように、宇治大納言源隆国が宇治の山房でもろの説話を蒐集採録したという伝承は示唆に富んでいる。つまり、地域の寺院が説話を採録する拠点として活用された好例がここに伝えられている。当時の知識層であった僧侶たちは、自分たちの説法の中に身近な説話・民譚を織り込んで大衆を教化し、またそれゆえに地域の文化・文芸に対する関心も高かった。同時に、彼ら僧侶たちは地域の権力支配層とも、また一般庶民大衆とも接触交流し、上下の階層の事情に精通しうる立場にあった。地域寺院とそこに居住する僧侶たちは、地方説話を蒐集するうえで最適の位置と立場にあったのである。最初の説話集『日本霊異記』が、薬師寺の私度僧・景戒によって編まれたという事実の重みもそこにある。そしてそれは仏教説話に限らず、仏寺と直接関係のない世俗説話の一部もまた、地域の寺院や神社を媒介拠点

として採録され、さらに伝承・流布していったであろうことを意味している。

かつて私は、古代の地方説話がどのようにして採集され中央文化圏その他に運ばれたかという伝搬ルートを考察したことがある（『地方説話考』1・2、跡見学園短期大学紀要・第9・11集）。地方で生まれた説話の中央指向は、一つは国司系説話群として都の中小貴族層へ、もう一つは在地の郡司系説話群として郡司層の子女の采女たちを介して宮廷後宮へ、というルートが考えられることや、また地域相互間の説話の伝搬・循環には幾通りかのパターンがあること、等を検討してみたのであるが、その一環として、地域説話の伝承拠点であった古寺社の役割を再確認する必要がある。

つまり、古代の地方説話は、地域ごとの宗教儀礼や神事芸能そして民俗行事の場で、長い歳月にわたってくり返し語り継がれ成長してきたのであり、その伝承の場としてその地域の寺院や神社が重要な役割を果たしてきたのである。『今昔物語』本朝部に載収された古寺社のあり方は、それら古代説話採録の原型を示唆する残像ともいえよう。

※本稿は跡見学園特別研究費（昭和60年度）の助成による研究調査の一部である。

表  
I

十一											卷		
話											大和		
十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	周平城京東大和	西大和南大和
		春日社	東大寺	東大寺招提寺	東大寺		大安寺 元興寺 觀世音寺	元興寺 禪院寺		元興寺 藥師寺	興福寺	平安京東大和	西大和南大和
											鷗の寺 飛鳥寺	平安京西大和	西大和南大和
			久米寺				現光寺					平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和
												平安京西大和	西大和南大和

十一													巻
話	大和												山
二十五 般若寺													周平城京
													東大和
													西大和
													南大和
真言院	教王護国寺	久米寺	豐浦寺	本元興寺									周平城京
	神護寺												洛北
													洛西
													洛南
													洛南山城
													摂津
													近江
													近畿諸国
													その他の地方
8~10		6	7	6~7	6~7	8	8	7~8	6~8	8	8	8	時代 (世紀)
空海・観賢他	久米仙人	敏達天皇 文部屋栖野	推古天皇	聖徳太子	聖徳太子	光明皇后	孝謙天皇	元明天皇・持統・ 元明天皇	聖徳太子 天武・元明天 皇	元明天皇 聖武天皇	藤原鎌足等	聖武天皇 良弁	主要人物
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	類型
元・伊呂波・金剛	扶・元	紀・霊・扶・元	紀・元	扶・元	(本文欠)	(本文欠)	(本文後半欠)	三宝・扶・薬	水・東斎・大安・ 三寶・東大・元・	扶・諸寺・伊呂波	扶・興福・帝王・ 元・東斎	大・元・宝物・諸 寺・東	重出する他文献

十二		十一												
二	一	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六
				朝護孫子寺				子島山清水寺	長谷寺					
		竜蓋寺	竜門寺											
					鞍馬寺									
						法輪寺	広隆寺							
										笠置寺				
											崇福寺	比叡(西)園城寺	比叡(東)(横)	延暦寺
(遠江)磐田寺	(越後)国上山寺													
8	7~8	8	8	9~10	8~9	6~7	6~7	8	7	7	7~8	9	9	9
丹生直茅上	神融	義淵	義淵	命練	藤原勢人	道昌	秦川勝	賢心 坂上田村麻呂	徳道	大友皇子 良弁	天智天皇 橘奈良麿	円珍	円仁	最澄
C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
霊	法験	扶・東大・元	(本文欠)	諸寺・宇拾・古本・信貴山	鞍・伊呂波・拾往・元	(本文欠)	(本文欠)	扶・元・源平・清水	扶・三宝・帝王・諸寺・元・源平・三国	帝王・諸寺	扶・三宝・元・蒙	扶・古著・元・太平・打聞	三宝・源平・三国	三宝・太平

													十二		卷																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
													話		大和		山城		時代		主要人物		類型		重出する他文献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
													周平城京		東大和		西大和		南大和		周平安京		洛北		洛西		洛南山城		撰津		近江		近畿		諸国		その他の地方		(世紀)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
													三興福寺								山階寺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
													四興福寺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
													五薬師寺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
													六興福寺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
													七東大寺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			



十三				十二									巻
四	三	二	一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	話
	三東大寺	二興福寺											大和
													平城京
法隆寺						葛城山							東大和
	室室經牟金		大峰山	金峰山	金峰山			金峰山			寺多		西大和
	笙原の石				寺内徳和						龍門寺		南大和
													平安京
												神護寺	洛北
					愛宕山	愛宕山		神松法	神愛				洛西
								神尾輪	明宕				洛南
													山城
								神住吉		梶原寺			摂津
								延暦寺		延暦寺	比叡(横)	比叡(横)	近江
	千比	葛河伽藍	(紀伊)熊野			比叡(横)	(丹波)	(紀伊)熊野		(播磨)円教寺			近畿諸国
	光院(西)												その他の地方
(下野)山の仙洞							(安房)			(筑前)背振山			時代
	9					10	10	10	11	10	10	10	(世紀)
法空・良賢	陽勝	蓮寂	義睿	良算	好延	円久	信誓	道命・性空	叡実	性空・源信	増賀	源信	主要人物
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	類型
法験・元	法験・元・宇拾	法験	法験・元・発心	法験・元	法験・拾往	法験・元	法験・元	法験・元・宇拾	法験・元・続本朝・発心・宇拾	法験・元・古談・性空	法験・続本朝・元・百因・三	法験・続本朝・元・三	重出する他文献



十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五
				東大寺										
										金峰山				
							長樂寺				法性寺			
			愛宕山 石清水	愛宕山										
													多田寺	
			比叡(東) 千手院					比叡(東)				延曆寺	比叡(西) 宝幢院	延曆寺
(播磨)円教寺		(紀伊)熊野						(紀伊)熊野権現						
	(信濃)山寺				(加賀)山 往生寺	(出羽)竜花寺								
10 11						10								
平願	妙昭	雲浄	光日	仁鏡	翁和尚	妙達	(僧)	一睿	春朝	理満	道乗	道栄	(僧)	慶日
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	A	A	A	A
法験・元	法験	法験・元	法験	法験・元	法験	法験・三宝・元		法験・古著	法験・元	法験・元	法験・元・三国	法験	法験	法験・元



十四				十三										
四	三	二	一	四十四	四十三 (西の京)	四十二	四十一	四十 興福寺	三十九 大安寺	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四
石淵寺														
				密六波羅 定法寺・		密六波羅 寺					香隆寺 法性寺			
														寺四天王
			延暦寺											
	(紀伊)熊野 (道成寺)													(紀伊)熊野 (道祖神)
							(陸奥)		(出雲)	(信濃)		(加賀)		
8			9 10 藤原仲平 無空							11	10 11 (僧)	10 11 源兼澄の女		
吉備真備(蛇)	(僧・女)	(信濃守)		(僧)	(女人)	講仙	持法・持金	光勝・法蓮	法嚴・蓮藏	平正家の郎等		源尊		道公
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
	法験・元・道成	法験・雑談	往生・法験・元・ 宝物・百因	法験		法験・元	法験・元	法験・元	法験・元		法験	法験・元	法験・元	法験・元

十四														卷
十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	話
		元興寺												大和
														山城
法隆寺							法隆寺							平安京
長谷寺	金峰山					長谷寺								東大和
金峰山														西大和
伏見稻														南大和
													門(朱雀)	周平
														安京
														洛北
						醍醐寺								洛西
														洛南
住吉明神							四天王寺							撰津
				比叡(東)	比叡(東)						三井寺			近江
				千手院							延暦寺			近畿
(紀伊)熊野														諸国
(伯耆)大山寺		(美作)	(越中)立山					(陸奥)	(美作)	(越中)立山	(越中)立山	(越後)乙寺		その他の地方
									8			10		時代
明蓮	転乗	蓮尊	海蓮	11 行範	11 覚念	10 恵増	11 定基・斉祇	壬生良門 空照	(民)	(書生)	(女人)	(僧・猿)	(男・狐)	主要人物
F 法験・元	F 法験・元	F 法験・元	F 法験・元	F 法験	F 法験	F 法験	F 法験・元・霊・長	F 法験・元	F 霊・三宝	F	F 法験	F 法験・元・古著	F 法験・古著	類型
														重出する他文献

十四														十九
三十三 葉師寺	三十二	三十一 (平城)	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九
													長谷寺	
					高麗寺			神奈比寺						
												滝安寺 (箕面)		
									比叡(東) 根本中堂	比叡(東) 金勝寺	比叡(西)	比叡(横)		比叡(東) 根本中堂
	(河内)百濟寺	(河内)					(河内)野中寺							
			(信濃)氏寺			(阿波)苑山寺								(信濃)桑田寺
		8		10		8	8					11		
長義	義覚	利苅女	大伴押勝	橘敏行	栄常	夜須古	(丹治比の経 師)	(僧)	朝禪	頼真	春命	永慶	安勝	(盲人)
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
靈	靈・三宝・水・元	靈	靈	宇拾・十訓	元・靈・三宝・法験・	靈	靈	法験	法験	法験・元	法験・元	法験	法験・三国・長谷	法験

十五	十四												卷
	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	話
一元興寺			興福寺			興福寺		(奈良)					大和
													東大和
													西大和
			(吉野)										南大和
				(神泉園)							深草極樂寺		山城
													平安京洛
													北洛
												山崎相応寺	西洛
													南山
													城南
													摂津
		延暦寺					無動寺	(比叡)(東)(西)					近江
		(明石津)											近畿
													諸国
	(新羅)												その他の地方
8	9		9	9	9	9	10			6			時代
智光・頼光	藤原利仁	陽信・(陰陽師)	日藏・(聖人)	藤原常行	空海	空海・修円	源信・定因	(僧)	(里人)	伴義通	(僧)	壹演	主要人物
G	A	A	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	類型
因・往生・十訓	打聞・古談			打聞・古本・江談・元・宝物	弘法・江談・打聞・古談	太平・弘法・弘法行		靈・三宝	靈	靈・三宝	字拾	拾往・元	重出する他文献

十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四葉師寺	三東大寺	二元興寺
				行願寺										
		醍醐寺												
比叡(東・千光院)	比叡(東)		石山寺	比叡(横)	比叡(西)	比叡(東)	比叡(東)定心院	比叡(横)	(梵釈寺)崇福寺	比叡(東)横	比叡(東)無動寺			
	(伊予)													
10	10 11	11	10			10					9 10	10	10	9
千観	長増・清尋	観幸	信頼	境妙	仁慶	明浄	春素・温蓮	尋静	兼算	普照	成意	済源	明祐	隆海
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
往生・元・古著・ 発心・百因・三国	古談・発心・三国 ・百因		往生	法験・拾往	法験・拾往	往生・百因	往生	往生	往生	往生	往生・元	往生・元・宇拾	往生・元	往生・元

十五														巻
話														大和
三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	
														周平城京
														東大和
														西大和
														南大和
								雲林院	極樂寺 貞観院			如意輪寺		周平安京
			(大原)											洛北
														洛西
														洛南
														山城
				勝尾寺	箕面寺				大日寺					摂津
延暦寺 無動寺	延暦寺		比叡(西)	比叡(西)										近江
				(播磨)			(丹後)					(播磨)		近畿諸国
(美濃)	(加賀)	(鎮西)				(筑前) 極樂寺				(信濃) 如法寺	(陸奥) 小松寺		(?) 法広寺	その他の地方
			10	9			11					10		(世紀)
(聖人) 薬延	摂円	(僧)	延昌	勝如・教信	(聖人)	(聖人)	(聖人)	(聖人)	広道	薬蓮	玄海	増祐	平珍	時代
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	主要人物
法験・元・拾往	法験・元・拾往	法験・拾往	往生・法験・元・三国	往生・元	往生			字拾	往生・法験・拾往	往生	往生・法験	往生	往生	類型
														重出する他文献



[illegible]

十六					十五										卷	
五	四	三	二	一	五十四	五十三	五十二	五十一	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	話		
				一興福寺										周平城京 域東大和 西大和 南大和	大和	
					仁和寺									周平安京 域洛北洛 西南山城	山城	
														撰津近江		
														近畿諸国		
														その他の地方		
														時代 (世紀)		
														主要人物		
														類型		
														重出する他文献		
												</				

二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六
									寺下毛野	穂積寺		八植槻寺		
							岡本寺 (法起寺)							
長谷寺	長谷寺					金峰山								
					科(南山)						清水寺			
				蟹満寺										
		石山寺												
(播磨)								寺(和泉)珍努の山						
	(新羅国)		(備中)										(越前)	(陸奥)
			9			8	8	8	8	8				
(太宰大弐)	新羅の后	(郡司の妻)	賀陽良藤	(女)	(侍)	御手代東人				(貧女)	(女)	(郡司の娘)	(人)	(男)
H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
長谷	長谷・宇拾	長谷	元・扶	靈・法驗・三宝・古著・沙石・昔話		靈	靈	靈	靈	靈	三国	靈・元	古本・宇拾・宝物	法驗・古説・宇拾

十六二十一														卷話	
三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七 大安寺	二十六	二十五	二十四	二十三 薬師寺	二十二	十六二十一	周平城京 東大和 西大和 南大和 周平安京 洛北洛 西南山城	大和山城
清水寺	清水寺	六角堂	清水寺	清水寺	長谷寺	長谷寺								撰津近江	近畿諸国
												石山寺 比叡(東)			
								(播磨)							
									(安芸 周防)	(駿河)			(鎮西)	その他の地方	時代
							8				8			(世紀)	主要人物
(小僧)	(貧女)	(生侍)	(貧女)	(貧女)	(生侍)	(青侍)	弁宗	(盗人)	(大隅掾)	中原維孝	(盲人)	梨 (啞女・阿闍)	(女)		類型
H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H		重出する他文献
				古本・宇拾		古本・宇拾・雑談	霊・長谷	法験・帝王	法験		霊	三国			

十七									十六					
九	八	七	六	五	四	三	二	一	四十	三十九 寺唐招提	三十八 薬師寺	三十七	三十六	三十五
				六波羅 密寺								清水寺		
													賀茂社	
													醍醐寺	
									桜井寺					
比叡(横)		崇福寺				(古寺 金台寺)								
		(播磨)清水寺									(紀伊)狭屋寺			
	(陸奥)小松寺		(土佐)室戸の津 寺	(陸奥)古寺跡	(備中)			(常陸)						(筑前)香椎明神
				11										
浄源	藏念	藏明	(老人)	寿久聖人 平孝義の郎等 藤二	藤原文時の従 者	平諸道の父	紀用方	(僧)		(盗人)		(青侍)	蓮秀	(男)
I	I	I	I	I	I	I	I	I	H	H	H	H	H	H
	地藏			地藏			地藏	地藏	(本文欠)	(本文後半欠)	霊	古本・字拾	法驗	法驗

十七														巻
話														大和
二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八紀寺	十七東大寺	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	
														周平城京東大和 西大和南大和
		六波羅密寺						仁和寺					寺祇陀林	周平城京洛北洛西南山城
								愛宕山	愛宕山					撰津
														近江
				三井寺							内(三井寺) 正法寺		比叡(横)	近畿諸国
			(播磨)極楽寺						(播磨)円教寺	(伊勢)				その他の地方
(周防)六地藏堂 玉祖大明神					(越中)立山 (加賀)白山		(伊豆)地藏寺	(伯耆)大山寺	(肥前)背振山			(駿河)富士の宮		(世紀)
10		11					9						11	時代
玉祖惟高	賀茂盛孝	但馬前司国挙	公真	浄照	阿清	蔵満・登昭	蔵海	蔵算	(持経者)	(下人)		和気光時	仁康	主要人物
I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	類型
地藏・元	地藏	地藏			地藏・元	地藏・元	地藏	地藏	地藏		地藏		地藏	重出する他文献

三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	十七
興福寺			葛木寺 (妙安寺)						興福寺						
		本元興寺					吉野・日藏の別所								
清水寺									雲林院 六波羅密寺		亭子院 の堂				
					嵐山 法輪寺										
				坂田郡の 山寺	延暦寺					延暦寺					
(唐)						(上総)山寺		(下野)薬師寺 地藏堂	(陸奥)恵日寺		(越中)立山		(因幡)国隆寺		
11	7 8	7 8	8	8				10							10
清範・寂照	行基	行基	(夜警の人)	(人)	(若き僧)	藤原時重	祥蓮の妻の尼	藏縁	(尼)	(女人)	延孝	(下人)	(僧)		源満仲の郎等
I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
古談	霊	霊・三宝	霊・元	霊		地藏・元・古著・ 玉葉・新統古今	地藏	元	元		三国	雑談	地藏・宇拾	宇拾	

十九	十七												巻	
	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	話	
一	元興寺	東大寺 東の山			元興寺 吉祥堂								大	和
													平城京	山城
													東大和	洛北
	寺(元興)												西大和	洛西
花山寺							雲林院 鞍馬寺	鞍馬寺					南大和	洛南
													周平城京	洛北
													洛西	洛南
笠置寺												山西石蔵 山寺	洛南	山城
													撰津	
比叡(東) (横)							延暦寺			比叡(西)	金勝寺 (大菩提寺)		近江	
			(紀伊)私部寺			(和泉) 血湧上の山寺			(但馬)山寺				近畿	諸国
				(越前)						(三河)			その他の地方	
9		8			8	8							(世紀)	時代
良峰宗貞(遍照)		金就	(富人)	生江世経	(女王)	(俗)	(僧)	(僧)	(二人の僧)鬼	貞遠	光空・兵平介	仙久	主要人物	
J	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	類	型
・続日本往生・大和 ・元・宝物・十訓	(本文後半欠)	霊	霊	古本・字拾・元	霊	霊			法験	法験・元	法験・元	法験	重出する他文献	



十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二
						寺多武峰								
											(京)		如意輪寺 石蔵寺	(京)
	解脫寺 (長谷)									池(深泥) 愛宕山	愛宕山			
								(嵯峨)						
												滝安寺 多田寺		
					比叡(横)							比叡(横)		比叡(東)
									(丹後)山寺				(播磨)	
														(三河) (唐・五台山)
		(讃岐)	(越前)山寺	(筑前)武蔵寺 (道祖神)	湯(信濃・筑摩の)						(陸奥) (常陸)			
10 11	10 11		10 11		10 11		10		11			10	10	10
源顕基	藤原公任	源大夫	藤原孝忠の侍	(僧)	王藤大主	藏人の宗正	君(左大臣・若)	(鷹使う男)	等藤原保昌の郎	(生侍)	兵部大輔の女	源満仲・源賢	慶滋保胤	大江定基(寂照)
J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J
(本文欠) 発心	(本文欠)	宝物・発心・百因	古本・字拾	字拾	古本・字拾		撰集・硯破物語			古著・沙石	古本	古談・宝物	続日本往生・字拾 ・発心・撰集	元・古談・今・宝 物・発心・字拾・平 ・十訓・三国・源 ・続日本往生

十九														巻
話														大和
三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	
	興福寺						東大寺 般若寺			大安寺	東大寺 (奥山)			周平城京
														東大和
														西大和
												多武峰		南大和
		六波羅 密寺					東寺						雲林院	周平城京
														洛北
														洛西
														洛南
		宇治 安日寺												山城
	総持寺		(淀川)						(摂津) 比叡(横)					摂津
												比叡(横)	三井寺	近江
		(紀伊)高野山												近畿諸国
(備後) (百済)	(筑前)													その他の地方
	10											10 11	10 11	時代 (世紀)
弘済	藤原山蔭	蓮円	(僧)	下野公助	藤原忠兼	安倍晴明 (僧)	覚縁・公円	(寺の別当)	(僧)	(大安寺別当 の聲)	(東大寺の僧)	三条太皇太后 宮	大斎院	主要人物
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	J	J	類型
霊	・宝物・十訓・源平 ・三国・搜後			古談・十訓・古著		・宝物・発心・元・ 三国				字拾		字拾	古本・賀齋・大斎	重出する他文献

二十		十九												
一	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一
									藥師寺	藥師寺				元興寺
			現滝蔵権											
	門			清水寺	清水寺							東三條の内神		
比叡(横)							比叡(東)	比叡(東)			延暦寺			

二十													卷		
十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	話	
											東大寺 の南・高 山			大	周平城京
														和	東大和
								金剛山							西大和
															南大和
						大峰寺			仏眼寺	仁和寺		五條の 道祖神			周平城京
							観音院								洛
		愛宕山													北洛
															西洛
															南山
那天堂															城南
				比叡 比良山 (東)									比叡 (西) (横)		摂津
															近江
															近畿諸国
			(美濃)伊吹山	(讃岐)	(信濃)										その他の地方
					9		10	9	10		10	10	10		時代
(富人)	(僧)	(聖人)	三修禪師	(竜)	滝口の道範	(男)	良源	染殿后	仁照	成典・ (尼天 狗)	寛朝・(天狗)	光大臣・(天 狗)	(座主) (天狗・天台)		主要人物
K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K		類型
霊	(本文欠)	字拾	字拾・十訓		字拾		(本文欠)	拾往・古談・相応				字拾			重出する他文献

二十														十六
三十	二十九	二十八	二十七 元興寺	二十六	二十五	二十四 馬庭山寺	二十三	二十二	二十一	二十	十九 大安寺	十八	十七	十六

[illegible]



表Ⅱ 『今昔物語』 載録古寺社一覽

奈良県														地方
大和国（平城京周域）														旧国
般若寺	東大寺	唐招提寺	夢原堂	大安寺	禅院寺	下毛野寺	西大寺	興福寺	紀寺	観世音寺	元興寺	葛木寺	春日社	殖槻寺
	金光明寺 王護国寺	招提寺		南大寺			高野寺 四王院	山階寺 北庭坂寺 等	璉城寺	観音寺	新元興寺 南興寺	妙安寺		植槻寺 建仁寺 観音寺
蘇我日向	聖武天皇	聖武天皇		聖德太子			称徳天皇	（鏡女王） 藤原不比			蘇我馬子	聖徳太子	藤原永手	
慧灌	良弁	鑑真		道慈	道照		常騰		行基	知通				浄達
六二九	七四三	七五九		七二九	六六八		七六五	（六七七） 七一四 平城移建	紀七〇八世	六七三	（七八八） 七一八 平城移建	六〇七世	七六八	七世紀
真言律宗	八宗兼学 華嚴宗	律宗		三論宗 真言宗	（法相宗）		真言律宗	法相宗	浄土宗 天台宗 浄土真宗		華嚴宗 三論宗			
奈良市般若寺町	奈良市雑司町	奈良市五条町	奈良市法蓮町？	奈良市大安寺町	奈良市芝新屋町		奈良市西大寺町	奈良市登大路町	奈良市西紀寺町	奈良県大和郡山形市観音寺町	奈良市芝新屋町	奈良市南京終町	奈良市春日野町	奈良県大和郡山形市植槻町
大和国添上郡	大和国添上郡平城京東郊	平城京右京五条二坊	（奈良の都越田の池の南）	平城京左京六条四坊	平城京（元興寺別院）	平城京	平城京右京一条三坊	平城京左京三条七坊	平城京左京五条七坊	大和国添下郡（平城京右京九条一坊？）	平城京左京六条四坊	平城京左京五条六坊	大和国添上郡	平城京右京二条四坊
9世紀観賢再興	総国分寺		▲	前身は熊擬寺、百濟大寺・大官大寺とかわり奈良に移る	▲もと飛鳥の元興寺東南に所在	▲		初め山城・山階から大和・飛鳥に移り平城京に移建	いと飛鳥に所在の「紀寺」の別院ともいう	▲いま小祠「観音堂」		▲一説に橿原市和田の「和田廃寺」とも	いま春日大社	▲植槻八幡神社の付近
⑪ 25 ⑩ 23	⑩ 7 ⑪ 19 ⑩ 7 ⑩ 3 ⑩ 8 ⑩ 15 ⑩ 43 ⑩ 9 ⑩ 3 ⑩ 17 ⑩ 13 ⑩ 17 ⑩ 15 ⑩ 49	⑪ 8 ⑩ 39	⑫ 19	⑪ 16 ⑪ 13 ⑩ 5 ⑩ 39 ⑩ 8 ⑩ 27 ⑩ 16 ⑩ 20 ⑩ 10 ⑩ 19 ⑩ 15	⑪ 4	⑩ 11	⑪ 18	29 ⑩ 40 ⑩ 6 ⑩ 1 ⑩ 43 ⑩ 21 ⑩ 43 ⑩ 13 ⑩ 8 ⑩ 30 ⑩ 1 ⑩ 14 ⑩ 17 ⑩ 31 ⑩ 12 ⑩ 31 ⑩ 29 ⑩ 3 ⑩ 23 ⑩ 2 ⑩ 38 ⑩ 4 ⑩ 34 ⑩ 40	⑩ 17 ⑩ 18	⑩ 11 ⑩ 5	⑩ 1 ⑩ 40 ⑩ 2 ⑩ 2 ⑩ 17 ⑩ 4 ⑩ 46 ⑩ 5 ⑩ 50 ⑩ 15 ⑩ 31 ⑩ 14 ⑩ 20 ⑩ 16 ⑩ 27	⑩ 17 ⑩ 35	⑩ 11 ⑩ 10 ⑩ 20 ⑩ 43 ⑩ 27 ⑩ 37	⑩ 16 ⑩ 8
2	15	2	1	10	1	1	1	22	1	1	13	1	3	1
														寺社名
														別称等
														開基
														開山
														開創
														宗派
														所在地
														旧国郡
														備考
														『今昔』所載巻・話
														数

(旧国別・アイウエオ順)



奈 良 県

		(西 大 和)										(東大和)								
安日寺	海部峰の山寺	竜天寺	竜心寺	竜海寺	竜王寺	法隆寺	寺平群の山	朝護孫子寺	熊凝寺	百済大寺	金剛山・葛城山・(高鴨神社)	岡本寺	東の山寺	高山	石淵寺	竜苑寺	薬師寺	馬庭山寺	法華寺	穂積寺
						法隆寺問寺 斑鳩(鵜)寺		欽喜院 志貴山寺	熊凝精舎	百済寺	(高鴨神社) (転法輪寺)	法起寺 池後寺						法華滅罪之 寺 氷室御所		穂積堂
						聖徳太子		聖徳太子	聖徳太子	聖徳太子	役小角	山背大兄					天武天皇		光明皇后	
						六〇七		蓮九〇二	六一七	六三九		六〇七			勸操八世紀		六七 七八 平城移建		七四一	
						法相宗 聖徳宗		真言宗	(真言律) 宗	(真言宗)		法相宗 聖徳宗			三論宗		法相宗		真言律宗	
奈良県五条市	奈良県吉野郡	奈良県西南地方				奈良県生駒郡斑鳩町	奈良県生駒郡平群町	奈良県大和郡山田額田部寺方町	奈良県北葛城郡広陵町	奈良県御所市	奈良県生駒郡斑鳩町	奈良県生駒郡斑鳩町			奈良市白毫寺町	奈良市大安寺町?	奈良市西京町	奈良市川上町?	奈良市法華寺町	奈良市東九条町
大和国宇智郡	大和国吉野郡	大和国平群郡斑鳩				大和国平群郡平群	大和国平群郡平群	大和国平群郡平群	大和国葛下郡百済	(大和・河内)	大和国平群郡斑鳩	大和国添上郡	大和国添上郡	大和国添上郡高円山	平城京左京七条三坊?	平城京右京六条二坊	大和国添上郡	平城京左京一条二坊	平城京左京九条四坊	
寺北十三村の「安入寺」か	?	これら五つの寺は「法隆寺」で、奈良県に合併されたという				?	信貴山	安寺の前身	安寺の前身	いま「百済寺」、大	いま「百済寺」、大	?	東大寺の南	高円山中腹に所在	大安寺の南に所在	大安寺の南に所在	大安寺の南に所在	大安寺の南に所在	大安寺の南に所在	大安寺の南に所在
⑩ 28	⑫ 27	⑬ 33	⑬ 33	⑬ 33	⑬ 33	⑪ 1・20 ⑬ 4 ⑭ 11・18	⑫ 17	⑪ 36	⑪ 16	⑪ 16	⑪ 3 ⑫ 38 ⑬ 21 ⑭ 39 ⑮ 20 ⑯ 7	⑫ 13	⑬ 49	⑭ 4	⑮ 4	⑯ 33	⑰ 33	⑱ 33	⑲ 19	⑳ 10
1	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	11	1	1	1

奈良県													地方
大和国（南大和）													旧国
寺社名	別称等	開基	開山	開創	宗派	所在地	旧国郡	備考	『今昔』所載巻・話数				
大峰山寺	大峰山	役小角	聖宝 (中興)	八世紀		奈良県吉野郡天川村大字洞川	大和国吉野郡	▲	⑬ 1・21 ⑬ 13	3			
岡堂	越部の寺					奈良県吉野郡大淀町大字越部	大和国吉野郡	▲	⑬ 11 ⑬ 35	1			
軽寺	法輪寺 法琳寺			六〇七世紀		奈良県橿原市大軽町	大和国高市郡軽	▲いま大軽町 「法輪寺」	⑬ 3	1			
経原寺	堂原寺？					奈良県吉野郡黒滝村大字堂原	大和国吉野郡	？いま「蓮光寺」	⑬ 3	1			
金峰山寺	金峰山の御嶽 藏王権現	役小角		六七二	天台宗 金峰山修験本宗	奈良県吉野郡吉野町	大和国吉野郡吉野	広義では「大峰山」 もふくむ 修験道霊場	⑪ 40 ⑬ 18 ⑬ 3 ⑬ 13 ⑬ 11 ⑬ 21 ⑬ 36 ⑬ 28 ⑬ 14 ⑬ 39 ⑬ 17	14			
久米寺		来目皇子		七世紀？	真言宗	奈良県橿原市久米町	大和国高市郡久米	久米仙人創建とも	⑪ 9 ⑪ 24	2			
現光寺	比蘇寺 吉野寺	聖徳太子		五八七	曹洞宗	奈良県吉野郡大淀町比曾	大和国吉野郡	いま「世尊寺」	⑪ 5 ⑪ 23	2			
子島山寺	南観音寺 子島寺	孝謙上皇報恩	七六〇		八宗兼学 真言宗	奈良県高市郡高取町	大和国高市郡	「観覚寺」	⑪ 32	1			
笙の石室	笙の窟					奈良県吉野郡上北山村大字西原	大和国吉野郡	文殊岳の山裾、古 来、大峯奥駈の行場	⑬ 3	1			
大官大寺	高市大寺	聖徳太子		六七四	三論宗	奈良県高市郡明日香村	大和国高市郡飛鳥	▲「大安寺」の前身	⑪ 16	1			
橘寺	上宮院菩提寺	聖徳太子		六〇六	法相宗 天台宗	奈良県高市郡明日香村	大和国高市郡飛鳥		⑪ 1	1			
滝蔵の神	滝倉明神 滝蔵神社					奈良県桜井市大字滝倉	大和国磯城郡泊瀬	泊瀬の地主神 長谷寺の鎮守	⑬ 42	1			
多武峰寺	妙楽寺		定慧七世紀		天台宗	奈良県桜井市多武峰	大和国磯城郡多武峰	▲いま「談山神社」	⑬ 33 ⑬ 39 ⑬ 10 ⑬ 18 ⑬ 23 ⑬ 35	5			
豊浦寺	向原寺 小墾田寺 建興寺 桜井寺	蘇我稻目		五五二	浄土真宗	奈良県高市郡明日香村	大和国高市郡飛鳥	日本最古の寺院 いま「向厳寺」	⑪ 23 ⑬ 28	2			
長谷寺	初瀬寺 泊瀬寺 神楽院	天武天皇徳道	七二七		真言宗	奈良県桜井市初瀬	大和国磯城郡泊瀬		⑪ 19 ⑬ 31 ⑬ 20 ⑬ 29 ⑬ 28 ⑬ 14 ⑬ 12 ⑬ 29 ⑬ 30 ⑬ 18 ⑬ 6 ⑬ 20 ⑬ 16	10			
本元興寺	飛鳥寺 法興寺	蘇我馬子		五八八	華嚴宗 真言宗	奈良県高市郡明日香村	大和国高市郡飛鳥	いま「安居院」	⑪ 50 ⑬ 1 ⑬ 14 ⑬ 15 ⑬ 22 ⑬ 36	6			
本薬師寺		天武天皇		六六七	法相宗	奈良県橿原市城殿町	大和国藤原京内	▲「薬師寺」の前身	⑪ 17	1			
三輪寺	大御輪寺			七七八世紀		奈良県桜井市三輪	大和国磯城郡三輪	▲いま「大直弥子神社」	⑪ 20 ⑬ 41	1			

京 都 府												
山 城 国 (平 安 京 周 域)												
行願寺	教王護国寺	祇陀林寺	祇園	勸修寺	河原院	上津出雲寺	鬼殿	大峰寺	雲林院	石蔵寺	稻荷社	一条北辺の堂
革堂一条北辺の堂	東寺	歓喜院	午頭天王神社	山科門跡	東六条院	出雲寺	僧都殿			東岩倉寺	伏見稲荷	
				醍醐天皇承俊						秦公伊侶		藤原順子恵運
行円一〇〇四	空海七九六	仁康一〇〇〇	円如八七六	九〇〇	仁康一〇世紀	最澄八〇九	役小角	遍照八六九	行基一〇一	七一一		
天台宗	真言宗	浄土宗	法相宗	三論・真言宗	天台宗	天台宗		臨濟宗	天台宗	天台宗	真言宗	法相宗
京都市中京区寺町通	京都市南区九条町	京都市下京区朱雀裏畑町	京都市東山区祇園荒町	京都市山科区勸修寺仁王堂	京都市下京区本塩釜町	京都市上京区上御霊通	京都市中京区	京都市上京区大峰図子町	京都市北区紫野	京都市左京区栗田口大日山	京都市伏見区深草稲荷新町	京都市山科区御陵安祥寺
	平安京、九条・東大宮	平安京、中御門・京極		山城国宇治郡	平安京、六条北・京極		平安京三条北・東洞院			山城国紀伊郡	山城国宇治郡	大和国吉野郡
前身は「一条北辺堂」		いま「権現寺」上京区松蔭町にも寺跡あり	いま「八坂神社」	大領・宮道弥益の旧宅	源融の旧宅	▲「上御霊社」	別藤原朝成・藤原有佐の別邸として伝承地あり	▲いま「大峰堂」	▲もと淳和朝離宮「紫野院」	▲	のち移転して「行願寺」	▲龍門滝を中心にした龍門山腹に所在
⑬ 30 ⑮ 12	⑪ 25 ⑯ 23 ㉔ 9	⑫ 9 ⑰ 10・27	⑬ 20 ㉔ 11 ㉔ 24	㉔ 7	⑮ 33 ㉔ 46 ㉔ 2	⑳ 34	㉔ 1	㉔ 9	23 ⑮ 22 ⑰ 29・44 ⑱ 17 ㉔ 3 ㉔ 31	⑲ 3	⑬ 30	⑬ 23
2	3	3	3	1	3	1	1	1	6	1	3	1

京 都 府														地方				
山 城 (平 安 京 周 域)														旧国				
花山寺	仁和寺	如意寺	鳥部寺	徳大寺	堂亭子院の	長楽寺	禅林寺	世尊寺	真言院	定法寺	貞観寺	神五条道祖	極楽寺	香隆寺	清水坂本の庵	清水寺	京極寺	寺社名
元慶寺	御室御所	如意輪寺	法(宝)皇寺 珍皇寺 六道寺 愛宕寺			東 山	永観堂		内道場		嘉祥寺	五条天神社		上品蓮台寺		北観音寺	京極八幡社	別称等
	光孝天皇	平親信				桓武天皇		藤原行成					藤原基経	聖徳太子		坂上田村麻呂	子開成法皇	開基
遍照	皇字多法		慶俊	朝寿		最澄	真紹		空海	行快	真雅	空海		寛弘(再興)空六		延鎮		開山
八六八	八八八	一〇一 一世紀	八〇九 九世紀	一一一 一世紀		八〇五	八五五	一〇〇一	八三四		八六二	七九四	九世紀	七世紀		七九八	九世紀	開創
真言宗 天台宗 内町	真言宗		臨濟宗	真言宗	真言宗	天台宗 浄土宗 時宗	真言宗 浄土宗		天台宗				真言律宗 日蓮宗	真言宗		法相宗 真言宗	天台宗 律宗 言宗 真	宗派
京都市山科区北花山寺	京都市右京区御室	京都市左京区白川	京都市東山区小松町	京都市右京区御室	京都市下京区	京都市東山区円山町	京都市左京区永観堂町	京都市上京区栄町一帯 (山城国愛宕郡上林郷 一条北・大宮西)	京都市上京区七番町?	京都市東山区定法寺町	京都市伏見区深草瓦町	京都市下京区天神前町	京都市伏見区深草	京都市北区千本頭十二坊町	京都市東山区清水坂	京都市東山区清水坂上	京都市上京区上御霊豎町	所 在 地
		白川・東山			平安京、七条坊門南油小路東			平安京、大内裏内 大極殿の西北				平安京・五条西洞院				山城国愛宕郡	平安京、三条京極	旧 国 郡
			平安初期 愛宕郡から移建とも	▲仁和寺の一院	▲もと宇多法皇御所			▲もと「桃園宮」 藤原伊尹旧宅	▲	▲「法性寺」の南	▲もと「嘉祥寺」西院	▲いま「宝塔寺」	?				いま、北区下総町	備 考
⑩ 1	41 ⑮ 37・54 ⑰ 15 ⑳ 5 ㉒ 20 ㉔ 27	⑮ 18 ⑩ 3	29 22 ㉑ 31 19	⑫ 39 ㉒ 9	⑰ 27 ㉒ 30 2	⑬ 12 ㉑ 4	㉒ 9・10	⑮ 42 ㉑ 3 ㉒ 8	⑪ 25	⑬ 44	⑮ 22	㉑ 3	⑬ 37	⑳ 35	・ 34 ㉑ 28・32 37 ㉒ 9 ㉓ 38・ ㉔ 30 40・ ㉕ 31 ㉖ 41・ ㉗ 29 ㉘ 22・	24 2	『今昔』所載巻・話	
1	6	2	2	2	2	2	2	3	1	1	1	1	4	1	1	12	1	数

京						都		府											
(洛北・北山城)						山城 (平安京周域)													
靈巖寺	長谷	神護寺	鞍馬寺	清滝川上の奥の庵	観音院	賀茂社	六角堂	寺六波羅密	蓮花寺	山科八幡社	山階寺	法成寺	法性寺	法住寺	法興院	仏眼寺	藤尾寺	東三条の内神	
	解脱寺	真言寺 高尾寺	金剛寿命院			賀茂明神 賀茂上・下 (賀茂氏)	頂法寺	普門院				御極御所						(隼明神)	
	藤原詮子 観修一〇世紀	和気真綱			余慶九八五		聖徳太子				鏡女王	藤原道長	藤原忠平 尊意九二四	藤原為光					
円行九世紀		八二四	鑑禎七七〇					空也九五一			六五七	一〇二二	九二四	九八八	真喜九九一			一〇世紀	
真言宗	天台宗	真言宗	法相宗 真言宗 天台宗 鞍馬弘教		天台宗		単立	浄土教 真言宗	天台宗		法相宗		天台宗						
京都市北区西賀茂	京都市左京区岩倉長谷町	京都市右京区梅が畑高尾町	京都市左京区鞍馬本町	京都市右京区・北区?	京都市左京区岩倉	京都市上京区上賀茂(上) 京都市左京区下鴨泉川町(下)	京都市中京区六角東洞院	京都市東山区松原通	京都市東山区祇園町	京都市山科区	京都市上京区	京都市東山区本町	京都市東山区(三十三間堂付近)	京都市上京区	京都市左京区銀閣寺町?	京都市山科区	京都市中京区(一条・西洞院の付近)	平安京、二条南・町西(東三条殿の鎮護戌亥神)	
山城国愛宕郡							平安京左京四条三坊				山城国宇治郡山階	東平安京、近衛北・京極	九条河原	平安京八条坊門と七条の間	東平安京、二条北・京極	山城国愛宕郡	郷の北の方	平安京、二条南・町西(東三条殿の鎮護戌亥神)	
▲北山	▲藤原公任の旧山莊	もと「高尾山寺」と「神願寺」の合併		?	岩倉「大雲寺」内				▲祇園の東・長樂寺跡の西、祇園女御堂	山科「藤尾寺」の南	▲藤原鎌足旧宅「興福寺」前身	▲元、京極阿弥陀堂無量寿院	東13世紀一時廃寺 ▲福寺観音堂	▲藤原為光の旧宅	▲藤原兼家の旧宅	▲	?	▲「隼神社」はいま中京区壬生町	
③1 20	⑩ 15	⑪ 25 ⑫ 32	⑪ 35 ⑫ 43 44 ⑬ 3	⑫ 39	⑫ 8	⑬ 36	⑬ 32 ⑭ 27 28	⑬ 29 ⑭ 42 28 44 ⑮ 43 ⑯ 5 21	⑬ 31 24	⑬ 31 1	⑬ 24 ⑭ 14 ⑮ 3 21 ⑯ 22 2 ⑰ 23	⑬ 12 22 23 ⑭ 29 37	⑬ 13 8 37 ⑭ 31 24	⑬ 24 38	⑬ 19 9	⑬ 20 6	⑬ 31 1	⑬ 19 33	
1	1	2	4	1	1	1	2	7	1	1	6	3	3	1	1	1	1	1	

大阪府・兵庫県			京 都 府															地方
摂 津			(南 山 城)					(洛 西・西 山 城)										旧国
小屋寺	勝尾寺	梶原寺	醍醐寺	高麗寺	神奈比寺	笠置寺	蟹満多寺	松尾明神	法輪寺	遍照寺	西石蔵寺	大覚寺	相応寺	神明寺	広隆寺	石清水	愛宕山	寺社名
昆陽寺	弥勒寺				神奈井寺	弥勒寺	紙幡寺	松尾社	嵯峨虚空蔵堂	広 沢	金蔵寺	嵯峨御所		神名寺	三桂寺 蜂岡寺 葛野寺 秦公寺 太秦寺	石清水八幡護国寺	愛宕権現 阿多古神社 白雲寺	別 称 等
	開 成					大友皇子 (貞興)		秦都理		花山天皇	元正天皇	淳和皇后	藤原良房		聖德太子 秦川勝			開 基
行 基 七三七	善 算 七二七	七世紀	聖 宝 八七四	七世紀	行 基 八世紀	行 基 七世紀	行 基 八世紀	七〇一	道 昌 八七四	寛 朝 九八八	隆 豊 七一八	寂 八 七六	真言宗		六〇三	行 教 八五九	役小角 七〇一 雲 遍 七〇三	開 山
真言宗	真言宗		真言宗		黄檗宗	法相宗 真言宗	真言宗		真言宗	真言宗	天台宗	真言宗	真言宗		真言宗			宗 派
兵庫県伊丹市寺本	大阪府箕面市栗生間谷	大阪府高槻市梶原	京都市伏見区醍醐伽藍町	京都府相楽郡山城町上	京都府綴喜郡田辺町大	京都府相楽郡笠置町	京都府相楽郡山城町	京都市西京区嵐山宮町	京都市西京区嵐山中尾下町	京都市右京区上嵯峨	京都市西京区大原野石作町	京都市右京区嵯峨大沢町	京都府乙訓郡大山崎町		京都市右京区太秦蜂岡町	京都府八幡市八幡	京都市右京区嵯峨愛宕町	所 在 地
摂津国河辺郡稲野	摂津国島下郡	摂津国島下郡		山城国相楽郡		山城国相楽郡	山城国相楽郡	山城国葛野郡	山城国葛野郡	山城国葛野郡	山城国乙訓郡	山城国葛野郡			山城国葛野郡	山城国綴喜郡	山城国葛野郡	旧 国 郡
	豊島郡?	▲いま「畑山神社」		▲狛氏の氏寺	在神奈備山の中腹に所	前身の「弥勒寺」を貞慶が再興		いま「松尾大社」	前身「葛井寺」七一三年行基開創			「滝殿」		▲京都の北西		宇佐八幡を勧請もと「石清水寺」		備 考
29 17	15 26	12 34	14 12 15 14 16 36 28 20	14 28	14 25	11 30 17 19 1	16	12 36	11 34 12 36 17 33	23 20	17 39	24 5	14 34	12 35	11 33 27 40	12 10 13 16 27 42 31 1	14 12 15 35 15 38 5 39 13 15 16 17	『今昔』所載巻・話
1	1	1	4	1	1	3	1	1	3	1	1	1	1	1	2	4	10	数

大 阪 府 ・ 兵 庫 県

和泉		播磨				河内				津振										
和泉寺 槇尾山寺	尽恵寺 珍努の山 施福寺	岩屋	雪彦山の 極楽寺	清水寺	円教寺 (書写山)	野中寺	八多寺	相田寺	百済寺	滝安寺	那天堂	多田寺	大日寺	総持寺	住吉明神 住吉坐神社	四天王寺 荒陵山敬田院 難波寺 三津寺 堀江寺 天王寺 金光寺 天護国寺	聖徳太子	五八七	八宗兼学 天台山寺 和宗	大阪府三島郡島本町桜井
				新清水		徳蓮院	八田寺	鋤田寺		箕面寺 吉祥院		多田院 法華三昧院								
					花山天皇性	聖徳太子			百済敬福恵			源満仲	嵯峨天皇空	藤原山陰						
			(若真)	法道	空九六六	蘇我馬子			妙六一六	役小角		源賢	海八〇九世紀		三世紀					
				六〇七世紀		七世紀				六五〇		九七〇	八〇九世紀							
				天台山	天台山	真言律宗 真言宗				天台山			真言宗	真言宗						
		兵庫県	兵庫県印南郡	兵庫県加東郡社町平木	兵庫県姫路市書写	大阪府羽曳野市野々上	大阪府南河内郡河南町	大阪府柏原市国分本町	大阪府枚方市中宮西之町	大阪府箕面市箕面	大阪府東生区	兵庫県川西市多田院	大阪府大淀区中津	大阪府茨木市総持寺	大阪府住吉区住吉町	大阪府天王寺区四天王寺				
		播磨国 (神崎・飾磨・ 宍粟の三郡)	播磨国印南郡歌見浦	播磨国賀茂郡	播磨国飾磨郡書写山	河内国	河内国	河内国安宿郡亀瀬		摂津国豊島郡	摂津国東生郡撫凹村	摂津国多田村	摂津国	摂津国	摂津国住吉	摂津国玉造				
▲	▲		▲				▲	▲鋤田連の氏寺	▲		?	いま「多田神社」 に所在	▲いま奈良県生駒市		「住吉大社」					?
⑪ 9 ⑫ 12 ⑬ 17 ⑭ 45	⑫ 13	⑬ 27	⑬ 20	⑬ 7	⑫ 34 ⑬ 36 ⑭ 19 ⑮ 14	⑭ 26	⑫ 18	⑪ 2	⑭ 32	⑭ 21 ⑮ 15 ⑯ 25 ⑰ 4	⑳ 15	⑬ 6 ⑭ 4	⑮ 21	⑩ 29	⑫ 36 ⑬ 14 ⑭ 18 ⑮ 51	⑪ 1 ⑫ 21 ⑬ 34 ⑭ 41				
3	1	1	1	1	4	1	1	1	1	3	1	2	1	1	3	4				1

滋賀県							和歌山県							地方			
近江							紀伊							旧国			
比叡山 (延暦寺)	大菩提寺	関寺	崇福寺	金台寺	葛川	石山寺	伊吹山寺	薬王寺	美奈部の 道祖神	道成寺	狭屋寺	金剛峰寺	熊野	私部寺	天野の宮	松尾寺	寺社名
	観音寺	金勝寺	世喜寺 長安寺	梵釈寺	金台寺地蔵堂	葛河伽藍	観音寺 弥高寺 太平寺 長尾寺	勢多寺		千手院 鐘巻寺	佐野寺		熊野三山 熊野権現 三熊野		丹生都比売 神社 丹生四所明神		別称等
			天智天皇			聖武天皇	光仁天皇	聖武天皇		紀道成		嵯峨天皇				用明天皇	開基
最澄七八八	良弁 七二九 七四九	(延鏡) (再興)	六六八		(相応) (九世紀)	良弁七四九	八世紀			義淵七〇一	八世紀	海八一六				役小角	開山
天台宗	天台宗	天台宗			天台宗	華嚴宗 真言宗		浄土宗		法相宗 天台宗		真言宗				天台宗	開創
滋賀県大津市坂本町	滋賀県栗太郡栗東町	滋賀県大津市上関寺町	滋賀県大津市滋賀里町	滋賀県愛智郡秦荘町	滋賀県大津市葛川坊村	滋賀県大津市石山寺辺町	滋賀県坂田郡柏原町	和歌山県日高郡南部町	和歌山県日高郡川辺町	和歌山県伊都郡葛城町	和歌山県伊都郡高野町	和歌山県東牟婁郡	和歌山県伊都郡葛城町	和歌山県有田郡	和歌山県伊都郡葛城町	大阪府和泉市松尾寺町	所在地
近江国志賀郡				近江国依智郡賀野村				紀伊国名草郡三上村	紀伊国日高郡	紀伊国日高郡	紀伊国伊都郡桑原里	紀伊国伊都郡	紀伊国牟婁郡	紀伊国安謫郡		和泉国	旧国郡
		▲	▲	「旧き寺」	「息障明王院」			「薬勝寺」の跡地に 建つか	?		▲尼寺?		本宮「証誠殿」 新宮「両所権現」 那智「飛瀧権現」	▲	「金剛峰寺」別所		備考
・29・34⑪ 34・27・10 ②③1・36・ 2⑦31⑬11 ・28④5・ 36・1・26 ⑦33・7⑫ 33・8・9 ③144・20・ 1⑩44・24 21⑮21・	⑭23 ⑰40	⑫24	⑪29 ⑮7 ⑰7 ②4 5	⑰3	⑬2	22⑪13 ⑬20 ⑮13 ・38 ⑯18・	⑳12	⑳22	⑬34	⑭3	⑯38	⑪25 ⑮41 ⑰28	21⑫ ・31 28・ ・36 34⑬ ⑭1 ・3 ・11 18・ 17・	⑰48	⑪25	⑮32	『今昔』所載巻・話 数
27	2	1	4	1	1	6	1	1	1	1	1	3	10	1	1	1	



東海地方	関 東 地 方				東 北 地 方				滋 賀 県							
伊 豆	上総	下 野	常陸	出羽	奥 陸				近 江							
寺桂谷の山	山 寺	薬師寺	地藏堂	鹿島明神	竜花寺	小仁祠	小松寺	古寺跡	恵日寺	山 寺	無動寺	三井寺	比良山	比叡山 横川	比叡山 西塔山	比叡山 東塔山
修善寺		下野薬師寺		鹿島神宮	善宝寺							園城寺		(楞嚴院) ほか	(勝蓮花院) ほか	(定心院) ほか
		天武天皇			妙達		光孝天皇					大友 与多磨				
空 海 八〇七					峨山 紹碩		実(中興) 雅		徳 一八〇六		相 応八六五	円珍 (再興)		円 仁八四八	円 澄	最 澄七八八
曹臨真 洞濟言 宗宗宗		華嚴宗			曹洞宗		天台宗 真言宗		法相宗 天台宗 真言宗		天台宗	天台宗		天台宗	天台宗	天台宗
静岡県田方郡修善寺町		栃木県河内郡南河内町		茨城県鹿島郡鹿島町	山形県鶴岡市大字下川		宮城県遠田郡田尻町小		福島県耶麻郡磐梯町磐梯		滋賀県大津市	滋賀県大津市園城寺町	滋賀県	滋賀県	滋賀県	滋賀県大津市坂本町
				常陸国鹿島郡			陸奥国新田郡仲村郷小			近江国坂田郡						近江国志賀郡
	?	いま「安国寺」	?	常陸国一の宮	いま「善宝寺」	?	式内社・子松神社の 神宮寺	▲		?	(比叡山)		修験霊場			
⑪ 9	⑪ 32	⑪ 30	⑪ 30	⑪ 9	⑪ 13	⑪ 32	⑪ 19 ⑪ 8	⑪ 5	⑪ 29	⑪ 34	⑪ 39 ⑪ 15 5 30	⑪ 19 ⑪ 28 ⑪ 17 ⑪ 24 ⑪ 14 ⑪ 23 ⑪ 8 ⑪ 24 ⑪ 7 ⑪ 40 ⑪ 31 ⑪ 12 ⑪ 1	⑪ 20 ⑪ 11	⑪ 1・39 ⑪ 10・27 ⑪ 2・6 ⑪ 1・32 ⑪ 23・8 ⑪ 28・4 ⑪ 19・12 ⑪ 31・11 ⑪ 24・39 ⑪ 18・21 ⑪ 20・9	⑪ 7・8 ⑪ 31・26 ⑪ 24・29 ⑪ 27・28 ⑪ 32・22 ⑪ 41・38 ⑪ 20・22 ⑪ 2・3 ⑪ 39・2 ⑪ 19・7 ⑪ 28・11	⑪ 15・30 ⑪ 38・39 ⑪ 20・16 ⑪ 11・5 ⑪ 35・6 ⑪ 28・1 ⑪ 20・9 ⑪ 31・2 ⑪ 23・10 ⑪ 37・24
1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	3	11	1	21	18	27

山陰地方		北 陸 地 方					信 越 地 方							東 海 地 方					地方
丹後	丹波	加 賀				越前	越中	越 後	信 濃				尾張	遠 江	駿河	伊豆	旧国		
成相寺	穴穂寺	山 寺	白 山	熊田の社	往生寺	山 寺	立 山	国上山寺	乙 寺	山 寺	如法寺	桑田寺	大伴氏の寺	熱田明神	鵜田寺	富士の宮	地藏寺	寺社名	
橋立観音	穴太寺		白山権現	(熊甲の宮)?			雄立山権現神社	国上寺	乙宝寺					熱田神宮	野田薬師	富士浅間社		別 称 等	
	大伴古磨														丹生直弟上			開 基	
真 応							慈 興	金 智	行 基									開 山	
七〇四八	七〇五						七〇一四	七〇九	七三六						七五八	八世紀		開 創	
真言宗	天台宗							真言宗	真言宗		真言宗				真言宗			宗 派	
京都府宮津市成相寺	京都府亀岡市曾我部町穴太	石川県	石川県石川郡	石川県鹿島郡中島町宮前?	石川県	福井県武生市	富山県中新川郡	新潟県西蒲原郡分水町	新潟県北蒲原郡中条町乙	長野県	長野県中野市大字中野	長野県	長野県上田市	愛知県名古屋市中熱田区	静岡県島田市野田	静岡県磐田市大字寺谷が丘	静岡県富士宮市大宮桜が丘	所 在 地	
	丹波国桑田郡		(加賀・越前・美濃)	加賀国能美郡		(越前国府の館の北山)?	越中国新川郡			信濃国	信濃国大井郡中津村		信濃国小県郡嬢の里		遠江国榛原郡鵜田の里	遠江国磐田郡	伊豆大島の郡の西南の島	旧 国 郡	
		▲		いま「久麻加夫都阿良加志比古神社」か?	▲					▲		▲	▲		▲「増参寺」?	いま「浅間神社」	?	備 考	
⑬ 4	⑬ 5	⑬ 14	⑭ 15 ⑮ 17 18	⑮ 9	⑬ 14	⑮ 13	⑭ 7・8・15 ⑮ 17 18・27	⑫ 1 ⑬ 23	⑭ 6	⑬ 18	⑮ 20	⑭ 19	⑭ 30	⑫ 6	⑫ 12	⑫ 2	⑮ 11	『今昔』所載巻・話	
1	1	1	2	1	1	1	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	数	

九州地方						四国地方				山陽地方				山陰地方											
筑前						土佐		阿波		周防		備後		美作		淡路		伯耆		因幡		但馬		丹後	
武蔵寺	道祖神	背振山	極楽寺	観世音寺	香椎明神	安楽寺	室戸の津	金剛定寺	太竜寺	苑山寺	六地藏堂	玉祖明神	中山社	高野社	国分寺	大山寺	国隆寺	山寺	山寺	山寺	山寺	山寺	山寺	山寺	山寺
花の寺					香椎宮		津照寺	金剛頂寺	大竜の嶽			玉祖神社	中山神社	高野神社		大智明権現									
藤原登羅鷹				天智天皇					藤原文山																
				満			空海	空海	行基			弘濟				行基	金蓮								
六六四				七二三			九世紀	八〇七	七九二			七世紀		七世紀		八世紀	七七八								
天台宗				天台宗			真言宗	真言宗	真言宗	(真言宗)						法相宗	天台宗								
福岡県筑紫野市二日市		(福岡県・佐賀県)	寺	福岡県太宰府市観世音寺	福岡県福岡市香椎町	福岡県太宰府市	高知県室戸市室津	高知県室戸市室戸町	徳島県阿南市加茂町	徳島県(小松島市田野町)	山口県	山口県防府市石田大崎	岡山県津山市東一宮	岡山県津山市二宮	鳥取県西伯耆郡大山町	鳥取県鳥取市野坂	兵庫県								
	筑前国□坂								阿波国名方郡殖村				美作国苦東郡	美作国苦東郡		因幡国高草郡野坂郷	(但馬の山寺)								
	?		▲「観世音寺」の傍			▲いま「太宰府天満宮」			「恩山寺」	?	▲	周防国一の宮	▲寺町廃寺跡	美作国一の宮	美作国二の宮	九世紀・円仁の再興	▲	?	?						
19 12	10 12	12 34 17 14	15 24	15 24	16 35	24 22	17 6	11 9	11 9	14 27	17 23	17 23	26 7	26 7	12 14	14 18 17 15	17 25	17 42	19 7						
1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1						

※備考欄の▲印は廃寺となったもの

不 明			九 州 地 方				地方
東国の山 の仙洞	延興寺	法広寺	大隅 薩八幡大菩	霧島山 霧島社	肥前 鏡明神 松浦明神	豊前 宇佐宮 宇佐八幡	旧国
							寺社名
							別称等
							開基
							開山
							開創
							宗派
			鹿児島県	鹿児島県始良郡霧島町 (日向・大隅)	佐賀県唐津市鏡	大分県宇佐市南宇佐	所 在 地
							旧 国 郡
?	?	?	?			いま「宇佐神宮」	備 考
⑬ 4	⑳ 20	⑮ 17	⑫ 10	⑫ 34	⑪ 6	⑪ 10 ⑫ 10	『今昔』所載巻・話
1	1	1	1	1	1	2	数

表Ⅲ 載録寺院の巻別・地域別数

世 俗 部			仏 法 部									巻	地 域	
二十四	二十三	二十二	二十	十九	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一		陸奥	東北
				1/1	3/3		1/1		1/1				出羽	地方
													常陸	関東地方
					2/2								下野	
					1/1								上総	
					1/1						1/1		伊豆	
					1/1								駿河	
										2/2			遠江	中部
										1/1			尾張	地方
										1/1			美濃	
							1/1	2/2	1/1				信濃	
								1/1	1/1	1/1			越後	
					1/2			1/3					越中	
				1/1									越前	
					1/1			1/1	2/2				加賀	
1/1	2/2		6/9	4/11	8/12	2/3	7/20	7/16	6/18	6/11	7/10		近江	近畿
5/5	2/2	1/1	9/9	10/12	9/16	5/11	10/11	6/6	10/13	10/13	9/9		山城	
	1/1		9/10	7/8	8/11	10/14	4/5	7/12	17/23	12/24	29/48		大和	
1/1				3/3		1/1	3/3	3/3	2/2	2/2	1/2		摂津	
					3/3				2/2	1/2			播磨	
								2/2		1/1	1/1		河内	
					1/1	1/1	1/1			1/1	1/1		和泉	
			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	2/3	2/7	1/2	2/2		紀伊	地方
						1/1							丹波	
				1/1		1/1							丹後	
					1/1								但馬	
										1/1			淡路	
				1/1									美作	中国地方
					2/2								備後	
					1/1								周防	
					1/1			1/1					因幡	
								1/1					伯耆	
								1/1			1/1		阿波	四国
1/1					1/1						1/1		土佐	
			2/2	1/1	1/1	1/1	2/2			1/1			筑前	九州地方
										1/1	1/1		豊前	
											1/1		肥前	
										2/2			大隅	

卷										時代
二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	
								1		六世紀
						1		5		六世紀
				2				4		七世紀
3								1	5	七世紀
6	5	7	1	5				16	12	八世紀
								2	2	八世紀
3	1	1	1	3	4			1	5	九世紀
				1	1	1		1		九世紀
7	6	3		14	3	2	3			一〇世紀
	6			2	1	5	5			一〇世紀
1	1	4		4	4	1	6			一一世紀
20 46	13 44	13 50	10 40	25 54	19 45	9 44	34 40	35 38		時代推定 可能説話数 各巻 説話数

表IV 各巻別の時代推定可能の説話数

計	世 俗 部						
	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五
5/5							
1/1							
1/1							1/1
2/2							
1/1							
2/2							
1/1							
2/2							
1/1							
2/2							
1/1							
1/1							
4/4							
3/3							
2/5							
1/1							
5/5						1/1	
66/123	5/5		1/1	4/4	1/1		
116/139	11/12	3/3	2/2	7/7	7/7		
113/165	4/4	1/1		3/3	1/1		
17/18			1/1				
6/7							
4/4							
5/5							
12/19							
1/1							
2/2							
1/1							
1/1							
2/2						2/2	
1/1							
2/2							
2/2							
2/2							
8/8							
2/2							
1/1							
2/2							

真言宗	律宗	三論宗	華嚴宗	法相宗	八宗兼字	宗派		地域	計
						東北・関東 地方	中部地方		
小恵日寺(陸奥) (2)(1)					恵日寺(陸奥) (1)			東北・関東 地方	1
如修 国乙 鶴田寺(遠江) 法善 上山寺(越後) 寺寺 寺寺 寺寺 (1)(1)(2) (1)(1)								中部地方	6
石山寺(6)			石山寺(6)					近江	9
鞍清京教勸蟹花笠安 馬水極護修多山置祥 寺寺寺寺寺寺寺寺 (4)(12)(1)(3)(1)(1)(3)(1)	極京 樂極 寺寺 (4)(1)	勸 修 寺 (1)		山鞍清祇笠 階馬水 置 寺寺寺園寺 (3)(4)(12)(3)(8)				山城	52
竜本長朝大西子久百 蓋元護孫安島米濟大 寺寺寺寺寺寺寺寺 (1)(6)(10)(1)(1)(1)(2)(5)	法般唐熊 華若招擬 寺寺寺寺 (1)(2)(2)(1)	太大大元石 官安興淵 寺寺寺寺 (1)(10)(13)(1)	本東元 元大興 寺寺寺 (6)(15)(13)	竜竜葉本 門蓋師藥隆 寺寺寺寺寺寺寺寺 (3)(1)(11)(1)(5)(1)(1)(22)(1)	子東 島大 山寺 (1)(15)			畿	4
大総 日持 寺寺 (撰撰 津津) (1)(1)						四天王寺(撰撰 津津) (4)		撰撰 津津・播磨	19
成金槇野 相剛尾中 寺寺寺寺 (丹紀和河 後伊泉内) (1)(3)(3)(1)	野国 中分 寺寺 (河淡 内路) (1)(1)			国道 分成 寺寺 (紀伊 淡路) (1)(1)				その他	38
								中国地方	19
津金太菟 剛竜山 定寺寺 (土土阿 佐佐波) (1)(1)(1)(1)								四国・九州地方	21
8	5	4	17	2	寺数				178 / 401

真言宗	天台宗	臨濟宗	曹洞宗	黄檗宗	浄土宗	浄土真宗
	惠日寺(陸奥) 小松寺(陸奥) (2)(1)					
		修善寺(伊豆) (1)	修善寺(伊豆) (1)			
	比叡塔川 上觀音 行願寺 京極寺 鞍馬寺 長谷寺 長安寺 西石蔵 法性山 花角堂 蓮花寺 六波羅 (3)(1)(2)(1)(1)(2)(18)(27)(2)					
神奈比寺 (1)	鳥雲部林寺院 (2)(6)				祇陀林寺 長樂寺 法性寺 六波羅密寺 (7)(3)(2)(2)(3)	
	紀金橘多牟 武峰山 寺寺寺寺 (1)(5)(1)(4)(1)	現光寺 (2)			牟紀田寺 (1)(1)	豊紀浦寺 (2)(1)
	四天王寺 撰津撰津撰津 (1)(4)(3)(4)					
	檜尾山寺 和泉和泉和泉 (1)(1)(1)(3)				栗王寺(紀伊) (1)	
	大山寺(伯耆) (2)		竜花寺(出雲) (1)			
	観世音寺 (筑前) (1)(1)					
50	43	3	3	1	8	2



※ 寺名の下の( )数字は、『今昔物語』中の頻出数

その他立	聖徳宗	和宗	日蓮宗	時宗
教王護国寺(3) 鞍馬寺(4) 六角堂(2)			極楽寺(4)	長楽寺(2)
金峰山寺(14)	岡本寺(5) 法隆寺(1)			
		四天王寺(摂津)(4)		
4	2	1	1	1